

## 2023年度(令和5年度) 関東地区調整機構 事業計画

2022年度(令和4年度)実務実習は当初「ポスト・コロナにおける実務実習」を期待していたが、未だに新型コロナウイルス感染症のまん延は収束を見せていない。しかし、実習施設の指導薬剤師ならびに大学教員、その他大勢の方々のご努力で、感染対策を徹底しつつ、コロナ以前の実務実習の内容にほぼ近い形で現在IV期病院実務実習が進行している。

そこで関東地区調整機構の令和5年度事業計画では、再度「ポスト・コロナにおける実務実習」に焦点を当て、主に以下の事業に取り組んでいきたい。

### 1. 薬局・病院・大学(「三薬」)の連携強化

コロナ禍における大学・施設間、薬局・病院間の連携などを中心に、「実務実習における良い事例」を取り上げ、向上小委員会を中心に、良い事例報告会および情報交歓会等を行う。

### 2. 改訂モデルコアカリキュラム準拠の4期制実務実習に関する調査・検証

各大学ならびに実習受入施設に対し、2019年度より開始された4期制での実務実習、薬局・病院の一貫性のある22週間実習の効果や課題などについてアンケート調査を行い、調査結果について情報共有を行うことで、より充実した実務実習の実施を目指す。

### 3. 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ、アドバンスワークショップおよび座学講習会の開催

認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ、アドバンスワークショップおよび座学講習会を従来通り継続すると共に、若手タスクフォース等の育成にも尽力する。特に認定実務実習指導薬剤師に対するアドバンス・ワークショップの充実を目指す。

### 4. 次期改訂モデル・コア・カリキュラム準拠の実務実習に関するセミナーの開催

次期改訂モデル・コア・カリキュラムに準拠した実務実習ガイドラインや、医療人プロフェッショナルリズムなどの臨床教育に関わる内容について情報提供の機会を設ける。